

平成 24 年度 第6回小平市森のカルテ作成準備委員会 会議要録  
及び第6回楽しさ森<sup>2</sup>調査についての報告

開催日時

平成 24 年12月1日(土曜日) 9 時～16 時 00 分

開催場所

中島町地域センター2階 集会室及び近隣の雑木林の森

出席者

- 1 小平市森のカルテ作成準備委員会  
権名委員長・山田委員
- 2 雑木林調査隊  
9名参加
- 3 事務局  
2名

調査内容

- 1 野鳥の観察をしましょう。
- 2 一番多そうな樹木の調査を始めましょう。
- 3 森のデッサンを始めましょう。
- 4 高い所から写真を撮りましょう。

<報告内容>

- 1 野鳥の観察をしましょう。

雑木林には、様々な動物たちが生息している。今回は、次のポイントに注意して野鳥の観察に挑戦してみました。

【ポイント】

- ①鳥は繊細なので、森の調査の物音がすると逃げてしまいます。一番最初の調査でトライしてみましょう。
- ②鳥を見つけても声を出さずにジェスチャーで調査隊の仲間に伝えましょう。
- ③あまり近寄らずに、遠くから双眼鏡で観察しましょう。
- ④I Cレコーダーにて録音してみましょう。
- ⑤最後に写真撮影をトライしましょう。
- ⑥単独なのか群れているのかつがいなのか確認しましょう。
- ⑦鳥ものさしで大きさを確認しましょう。(小→スズメ・中→ハト・大→カラス)

【結果】

- ①オナガが観察できた。

カラスの仲間で、雑食のようですが、ヒサカキの実を食べていた。群れていた。尾が長い。鳴き方は「ギャーギャー」。



②キジバトもいました。

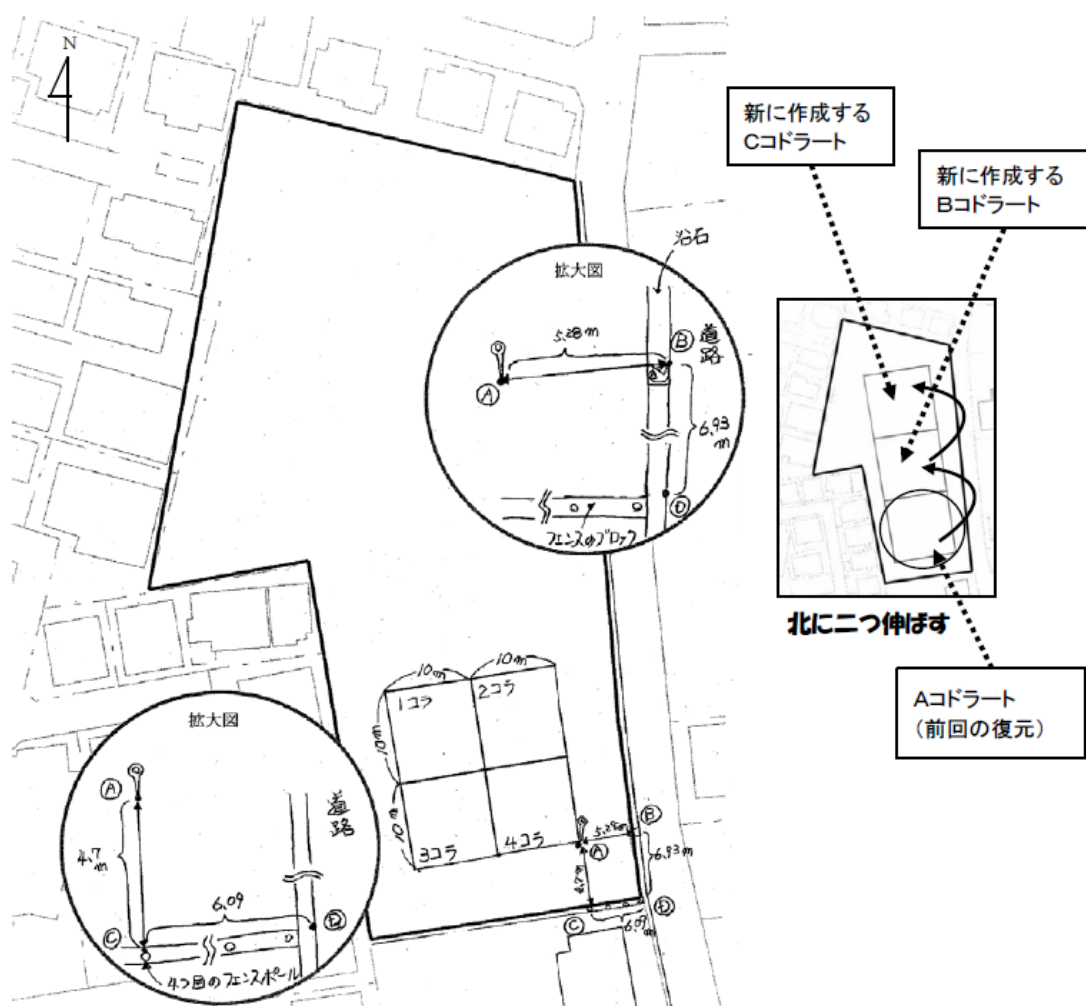
キジバトは「クグッククウ」と鳴いていました。雑木の木の実や草の種でも食べていたのでしょうか。



③写真撮影はできませんでしたが、他にアカゲラ、ヒヨドリ、ムクドリらしい鳴き声が観察されました。

④野鳥が好む木の実としては、イロハモミジ、エノキ、コムラサキ、センリョウ、ツルウメモドキ、マユミ、マンリョウ、ムクノキ、ムラサキシキブ、ヤマグワなどがあります。

## 2 コドラードを設置しましょう



※天候不順の為、コドラードはABの2つのみ設置しました。

3 一番多そうな樹木の調査を始めましょう。

(1) 前回のコドラートとの変化を調べましょう。

毎木調査(落葉)					前回調査	
地図No	樹種	幹周	高さ	備考		
A1 コラ	1	ケヤキ	0.3	8		
	2	ケヤキ	0.6	12		
	3	ケヤキ	1.3	13		
	4	ケヤキ	1.4	28		
	5	ケヤキ	0.2	4		
	6	ケヤキ	0.5	12		

毎木調査(落葉)					前回調査	
地図No	樹種	幹周	高さ	備考		
A2 コラ	1	コナラ	1.4	22		伐採
	2	コナラ	0.9	25		
	3	ケヤキ	0.3	9		
	4	ケヤキ	0.2	4		
	5	ケヤキ	0.3	7		
	6	クヌギ	1.4	28		
	7	サクラ	-	-	萌芽更新	

毎木調査(落葉)					前回調査	
地図No	樹種	幹周	高さ	備考		
A3 コラ	1	ケヤキ	1.6	20		
	2	ケヤキ	0.3	5.5		
	3	ケヤキ	0.4	11		
	4	ケヤキ	0.4	9		
	5	ケヤキ	0.4	9.5		
	6	ケヤキ	1.4	21		
	7	ケヤキ	0.2	7.3		
	8	ケヤキ	0.2	7		

毎木調査(常緑) ~冬でも葉がついてる木					今回調査
地図No	樹種	幹周	高さ	備考	
A3 コラ	9	コナラ	0.1	3	喪失

毎木調査(落葉)					今回調査	
地図No	樹種	幹周	高さ	備考		
A4 コラ	1	コナラ	1.2	17		
	2	コナラ	0.5	9.5		
	3	コナラ	0.7	15		
	4	ケヤキ	0.2	8		
	5	ケヤキ	1.7	23		
	6	ケヤキ	0.5	9		
	7	コナラガシワ	-	1.5	発生	

前回調査結果  
 ケヤキ 20本(約75%)  
 コナラ 5本(約20%)  
 クヌギ 1本(約5%)

【広葉樹の記載例】  
 ○…落葉広葉樹  
 ●…常緑広葉樹

【針葉樹の記載例】  
 △…落葉針葉樹  
 ▲…常緑針葉樹

【株立ちの樹木の記載例】  
 幹が二本のコナラであれば  
 ⊕といった表記になります。

【萌芽更新の記載例】  
 サクラが萌芽更新している場合は⊙ といった表記になります。

[Aコドラート 前回調査日:平成24年1月14日(土)第2回来しご森×2調査]  
 [Aコドラート 今回調査日:平成24年12月1日(土)]

(2) 追加分のコドラートの毎木調査をしましょう。

毎木調査(落葉)					B1 コラ
地図No	樹種	幹周	高さ	備考	
B1 コラ	1	コナラ	1	16	
	2	コナラ	1.7	25	幹0.9 幹0.8

毎木調査(落葉)					B2 コラ
地図No	樹種	幹周	高さ	備考	
B2 コラ	1	コナラ	0.6	25	
	2	エゴノキ	0.4	7	
	3	エゴノキ	0.3	-	萌芽

毎木調査(落葉)					B3 コラ	
地図No	樹種	幹周	高さ	備考		
B3 コラ	1	エゴノキ	0.4	7		
	2	コナラ	2.2	30		
	3	ケヤキ	0.5	6		
	4	ケヤキ	0.7	13		

毎木調査(落葉)					B4 コラ	
地図No	樹種	幹周	高さ	備考		
B4 コラ	1	サクラ	1.8	-		萌芽
	2	コナラ	1.1	20		幹0.9 幹0.7
	3	ケヤキ	0.2	10		
	4	コナラ	1.5	23		
	5	クヌギ	1.2	25		
	6	コナラ	1.4	22		
	7	コナラ	0.8	20	根腐食	

[Bコドラート 調査日:平成24年12月1日(土)]

**A1からB4までの総合計**

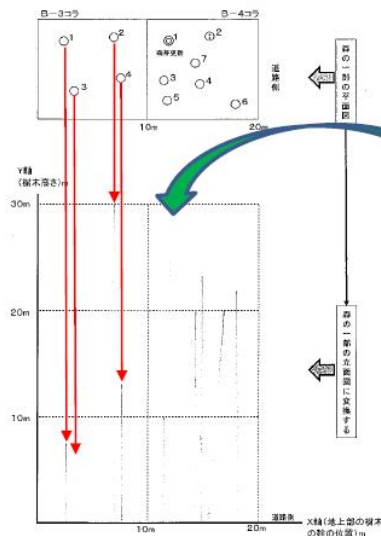
落葉						常緑樹		総合計
ケヤキ	クヌギ	コナラ	サクラ	エゴ/キ	その他	コ/テガン/ワ	その他	
23	2	12	2	3	0	1	0	43
53%	5%	28%	5%	7%	0%	2%	0%	100%

- 1番 ケヤキ 23本 (53%)**
- 2番 コナラ 12本 (28%)**
- 3番 エゴ/キ 3本 (7%)**

3 森のデッサンを始めましょう。

(2) 実際に東西の断面図を記載しましょう。

**ステップ1**



**調査結果表**

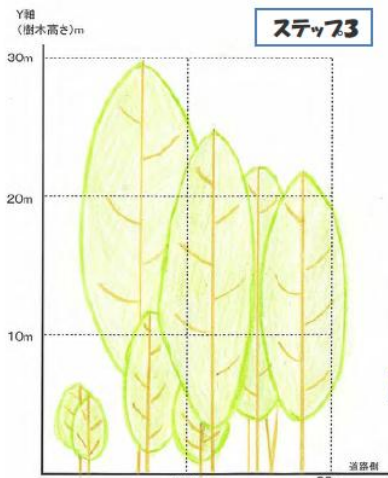
**毎木調査(落葉)**

B3 コナラ	地目No	樹種	幹周径	高さ	備考
	1	エゴ/キ	0.4	7	
2	コナラ	2.2	30		
3	ケヤキ	0.5	6		
4	ケヤキ	0.7	13		

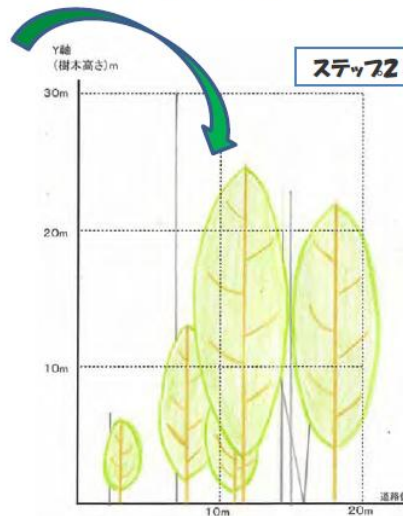
**毎木調査(落葉)**

B4 コナラ	地目No	樹種	幹周径	高さ	備考
	1	サクラ	1.8		
2	コナラ	1.1	20		幹周0.9 幹周0.7
3	ケヤキ	0.2	10		
4	コナラ	1.5	23		
5	クヌギ	1.2	25		
6	コナラ	1.4	22		
7	コナラ	0.8	20		根腐食

① 調査結果表から樹木高を調べて、樹木の根の位置から該当する高さまで幹を鉛筆で下書きしてみましょう。



③ 全ての木を描いて完成。



② 手前の木から描きます。

平面図から立面図を作成する方法は、実際の描写とは若干の違いがありますが、森の構成を見るうえでは簡易な方法です。

4 高い所から写真を撮りましょう。(省略)

その他詳細は、調査結果のホームページをご覧ください。

以上

## 平成 24 年度 第7回小平市森のカルテ作成準備委員会 会議要録

### ○開催日時

平成 24 年12月21日(金曜日) 13時30分～15時45分

### ○開催場所

市役所3階 301会議室

### 出席者

椎名委員長 山田委員

雑木林調査隊 5名

傍聴人 1名

事務局 2名

### 会議次第

#### 1 開会

#### 2 事務局報告

#### 3 議事

(1)第5回楽しさ森<sup>2</sup>調査(思い出調査)の結果について

(2)第6回楽しさ森<sup>2</sup>調査結果について

(3)市民による森のカルテづくりガイドブックの変更視点の確認

(4)今後のスケジュール

(5)その他

#### 4 閉会

### 配布資料

(1)議事次第

(2)資料-1 第4回森のカルテ作成準備委員会会議要録について(報告)

(3)資料-2 第5回楽しさ森<sup>2</sup>調査(思い出調査)の結果について(案)

(4)資料-3 第6回楽しさ森<sup>2</sup>調査結果について(案)

(5)資料-4 市民による森のカルテづくりガイドブックの変更視点について(案)

(6)資料-5 今後のスケジュール

### <議事>

1 第5回楽しさ森<sup>2</sup>調査(思い出調査)の結果について

### 委員

資料2の地図や人物の写真は斜めにせずまっすぐに掲載した方が良いだろう。

## 委員長

5ページ②の三角山の記述だと、すべての三角山に庚申塚があったように思えるため、もう少し調べて、この写真の中のどこの三角山に庚申塚があったのか記述した方が良い。⑥の萱はわかりづらいのではないかと、例えば、「ススキ等がいっぱい生えてきた、そのススキは屋根の茅葺きに使ったんだ。みんなで協力してススキを利用していた。」といったような表現はどうか。また、粗朶(そだ)小屋に1～2年保管した。とあるが、この1～2年というのも微妙である。伐採した後にすすきが生えてくるが、萱が取れる量と1件の家の屋根を茅葺ける量は一致しないから、屋根の面積が取れるまで保管をするので3年になることもある。屋根がついている粗朶小屋に入れておけば何年でも持つ。30年くらいで葺き替えると思うが。そういう意味から文章を考えられないか。

5ページ③に木を切るだけでなく落葉を集めるのもお金を払っていたと言っていたので追加してほしい。それも大事である。木を切るのは15年～20年に一度だが、くず掃きは毎年である。それも雑木林の仕事である。農家と雑木林の毎年の関係と15年～20年に一度の関係と両方出てくる。それも掲載してほしい。

### (くず掃<sup>は</sup>き)

雑木林などの管理委必要な作業で、落ち葉などを掃いて集めることをいう。集めた落葉などは1から2年間置かれ堆肥となって再利用される。

## 委員

この時の清水さんのお話では、山口さんの三角山とあるから、固有名詞かもしれない。東小川橋付近の三角になったところは、一番初めの小川用水を引いた時の分水口である。12小通りに沿って小川用水が流れていた。

## 委員

歴史上では学んだことがある。三角形の土地には神が降りる。そこには神木があり、その木が松であった。

## 委員長

三角の所は何か言い伝えがあったのかもしれない。松があると神が降りてくるという話しは随所にある。もっと意味が深いのかもしれない。

## 委員

庚申塚の三角山なのか、山口さんの三角山なのか、上の方の三角山なら神明宮に延長しているかと思うので事務局として清水さんにもう一度確認してほしい。

(その後の清水氏への聞き取り調査内容)

- ①三角山とは三角形の形状の土地のことを一般的に示して表現したとのこと。三角形の土地は利用しづらくて樹木が生えっぱなしだった。そんな雰囲気が、神が宿る土地と言われるようになった理由ではないか。小平監視所の辺りも三角形だったので山の神と言われていた。
- ②庚申塚については、石柱のような塚でなく、玉石を積んだもので、庚申山とも呼んでいた。玉石があったのは、12小通り端部の玉川上水沿いの三角山だった。

## 委員長

6ページ⑩の木を切つてという所の表現をもう少し工夫するように。

委員

現在のクヌギとコナラの混成林になっている実態が出てこない。今の上水新町あたりはコナラが中心、北側の南台樹林などはクヌギが多いとも言われている。開拓の途中で、成長の早いクヌギを先に植栽したのか。それとも新田開発が盛んな所、南側の照度の高い所に成長の遅いコナラを植え、北側の照度の低い所を中心に成長の早いクヌギを植えたのではないかとも考えられる。

委員長

樹種の取り扱い傾向がわかった方がよい。できれば、マツは切らずに3世代ほど残して、梁に使ったということも入れておいた方がよい。

調査隊

三角山の写真はいつの頃のものかわかるか。年代を表記すべきではないか。

事務局

三角山の写真は昭和23年頃と聞いているので表記する。

## 2 第6回楽しさ森<sup>2</sup>調査結果について

委員

資料3の10ページの写真の撮影場所が分かりづらい。

委員長

写真に番号をふった方がわかりやすい。

委員

資料3の3から4ページの株立<sup>かぶだち</sup>や萌芽更新<sup>ほうがこうしん</sup>したあとの樹木の表現を統一してほしい。

委員長

4ページ、B1 コドラートNo.2、3、4の株立の樹木は1本の木として扱う。幹回りの表示は難しいが、樹木調査の時は、No.2から4の幹回りを全部足した数字に0.7を乗じて1本の木の幹回りとして扱う。

決められた数字ではないが、剪定等の時には歩掛<sup>ぶがかり</sup>といった扱いをすることもある。B1コドラートの2、3、4の場合は、幹回り0.9、0.8、0.8を足した2.5mに0.7を乗じて幹回りにするということだ。

今回の場合は、株立の3本の幹回りを足して0.7を掛けると1.75mになる。つまり、コナラ1本の幹回り1.75mを扱う職人の作業の手間の費用を決める際に利用されているということだ。これは、株立の作業量を適正にするために0.7を乗じることが一般的となっているということだ。

何回も萌芽更新していくと根つながりと言って、離れているのに同じDNAを持った別の木が生えることがある。また、萌芽更新のもやわけをする時、上のほうの木は枯れやすいたら、根元から生えている若芽を選ぶ方が育ちやすい。

(歩掛<sup>ぶがかり</sup>)

ある作業を行う場合の単位数量または、ある一定の工事に要する作業手間ならびに作業日数を数値化したものこと。歩掛調査などにより数値化し積算するもの。

委員

株立の配置図の表記も、一般的な表現にした方がよい。○の表記の中に株立ちの本数だけを・を表記するのが一般的だ。3本の株立ちだったら⊙という表現になる。

調査隊員

樹木の幹回りの大きに合わせて○の大きさも表現したらどうか。

委員長

それも良いだろうが、樹種も含めて凡例の種類が増えていくと煩雑になってくるかもしれない。

落葉広葉樹は○、常緑広葉樹●、落葉針葉樹△、常緑針葉樹▲といったところか。樹種まで表現するのは煩雑になるので一般的な表現にした方が良い。

調査隊員

株立の場合の樹木高はどのように決めるのか。

委員長

一番高い幹の数値を採用する。

事務局

写真は撮影できなかったが、オナガ・キジバトの他に、アカゲラ・ヒヨドリ・ムクドリも鳥の鳴き声で確認できたとのことなので掲載したい。ホームページには鳥の鳴き声も掲載したい。

委員

オナガがつがいにいるとの記載があるが、オナガの繁殖期はこの時期でない。繁殖期以外は群れをなしている。また、キジバトが虫でも食っているとあるが、雑食ではなく穀物中心である。

(つがい)

番いと書く。2つのものが組み合わさって一組みになること。動物の雄と雌の一組み。また、夫婦のこと。

事務局

逆にオナガが雑食であれば、オナガの記述に虫なども食べていたとするのはどうか。

委員長

オナガは確かに雑食であるが、実際にはヒサカキの実を食べていたようである。

委員長

資料3の8ページから9ページの樹木の前後関係に間違いが1箇所あるので訂正が必要。

8ページの図面に見ている方向を分かるように表示した方が良い。

### 3 市民による森のカルテづくりガイドブックの変更視点の確認及び今後のスケジュール

委員長

事務局案による変更案を次回の第8回委員会で検討し、第9回委員会で最終確認する方向で説明があったかどうか。

委員

了承。

### 4 その他

事務局

次回の第8回森のカルテ作成準備委員会の日程について変更が生じましたが、改めて調整をさせていただきます。

以上



平成 24 年度 第8回小平市森のカルテ作成準備委員会 会議要録

○開催日時

平成 25 年1月18日(金曜日) 13時30分～16時05分

○開催場所

市役所3階 庁議室

○出席者

椎名委員長 山田委員

雑木林調査隊 3名

事務局 2名

<会議次第>

- 1 開会
- 2 事務局報告
- 3 議事
  - (1) 市民による森のカルテづくりガイドブックの変更の内容
  - (2) 市民による森のカルテ(案)
  - (3) スケジュール
- 4 閉会

<配布資料>

- (1) 議事次第
- (2) 資料-1 第7回森のカルテ作成準備委員会要録(報告)
- (3) 資料-2 森のカルテづくりに関するホームページについて(報告)
- (4) 資料-3 第5回楽しさ森<sup>2</sup>調査(思い出調査)の結果について(報告)
- (5) 資料-4 第6回楽しさ森<sup>2</sup>調査の結果について(報告)
- (6) 資料-5 市民による森のカルテづくりガイドブックの変更内容
- (7) 資料-6 市民による森のカルテ(案)
- (8) 資料-7 今後のスケジュール

<議事>

1 市民による森のカルテづくりガイドブックの変更の内容

委員長

6ページの「森を空から見よう」の地図の背景に撮影場所のマンションを入れると分かりやすいのではないかと。マンション写真は遠景写真と近景写真を掲載したらどうか。また、森の範囲を色付けして保存樹林と掲載した方が良いのではないかと。

委員長

地図の中の調査対象地に保存樹林1号とか2号とか正式の名称を入れないのか。

事務局

保存樹林の名称は決まっていない。実務上は、地番と所有者で特定している。ここでは、事例とし

て表現するので保存樹林とだけ明示する。あくまでもガイドブックを作成しているので、一般化した表現で記載していきたい。

委員

7ページ以降に、「B3 コラ」といったように、コドロードを省略して「コラ」と表現しているが、正式にコドロードと記載した方が良い。

委員長

B3及び B4 コドロードの図面位置が分かるように工夫した方が読みやすい。図面だけでもイメージが持てるように親切に作った方が良い。また、単位が明示されていない表がある。

委員

「森の外観を見よう」といった構成の中で、いきなり7ページのコドロードの結果が出るのはどうだろうか。構成上問題ないか。

雑木林調査隊

7ページはいきなり細かくなっている。「森の中に入って見よう」の中に入れたらどうか。

委員長

確かに、その通りだ。「森の外観を見よう」ではなく、森の調査結果に基づく森の構成といった入り方もある。

委員

7ページの「森の外観を見よう」では簡単な横から見た図や写真等を掲載したらどうか。

委員長

項目をまとめて、概要から徐々に細かくしていく必要がある。目次の次にくる項目を整理していく必要がある。

委員長

10ページの「雑木を見よう」で、樹種を識別する項目が漏れている。

委員

雑木林の代表的な樹種であるコナラ、クヌギ、ケヤキ、エゴノキ、ヤマザクラなどについての写真を掲載したらどうか。

委員長

12ページの事例で、萌芽更新の切り株の太さが幹回りとなっているのは誤りである。備考に萌芽と書くだけで良い。しかし、萌芽更新のため一斉に伐採した場合は切り株がどのくらいあったかを記録することは先見性のあることかもしれない。つまり、萌芽更新を管理行為と認識するのであれば、その結果を記録することは意義がある。切り株幹回りといった表現で良いかもしれない。

委員

玉川上水などでも管理行為という名目で樹木伐採している。史跡なので根拠づけがないと伐採できない。

委員長

13ページの「森の宝物を探しましょう」の宝物1と宝物2の写真が分かりづらいので、入れ替えた方が良い。

委員

花ガラ、ムカゴをリリースにした写真があったのではないか。

雑木林調査隊

13ページの宝物5や宝物6のコメントと写真が分かりづらい。

委員

23ページの松の木という表現はどうか。「マツノキ」という樹木は無い。

事務局

ここでは聞き取り調査結果なので、清水さんの言われた表現を重視して表記した。単に「マツ」、若しくは「マツの木」等表現は色々ある。聞き取り調査結果内では同じ表現に合わせたい。ちなみに、松の木通りは市道第 A-1号線が正式な名称だが、道路愛称として「松の木通り」が登録されている。

委員長

このガイドブックの中で、マツが統一された表現になれば良いということだ。

委員長

24ページの「色々な道具を使ってみましょう」が唐突な感じがする。8ページの人間尺度の後に入れた方が良い。

## 2 市民による森のカルテ(案)

委員長

本編の論議の中で再度検討する必要があるのではないか。

委員

了承。

## 3 スケジュール

事務局

次回の第9回森のカルテ作成準備委員会の日程について説明。

以上

平成 24 年度 第9回小平市森のカルテ作成準備委員会 会議要録

○開催日時

平成 25 年2月1日(金曜日) 13時30分～15時40分

○開催場所

市役所5階 505会議室

○出席者

椎名委員長 山田委員 池貝委員

雑木林調査隊 3名

傍聴者 2名

事務局 3名

<会議次第>

1 開会

2 事務局報告

3 議事

(1) 市民による森のカルテづくりガイドブック(平成25年版)案について

(2) 市民による森のカルテ(案)について

(3) 今後のスケジュール

(4) その他

4 閉会

<配布資料>

(1) 議事次第

(2) 資料-1 第8回森のカルテ作成準備委員会要録(報告)

(3) 資料-2 市民による森のカルテづくりガイドブック 案 (その1・その2)

(4) 資料-3 市民による森のカルテ(案)

(5) 資料-4 平成24年度活動結果と今後のスケジュール

<議事>

1 市民による森のカルテづくりガイドブック(平成25年版)案について

委員長

まずは、資料2の、その1「市民による森のカルテづくりガイドブック(案)」についてどうか。

委員

目次のパターンとして2案提出されているが、どちらが良いか。

委員

パターン2の方が、このガイドブックに書かれている内容のイメージを持ちやすいのではないか。

委員長

11ページの森の歴史的な意義で、肥料が燃料資源的要素とあるが、どちらかと言えば生産活動的要素ではないだろうか。

雑木林調査隊

15ページのクヌギとコナラの樹高で、15メートル前後とあるが、実際の調査では25メートルや30メートルの樹高のクヌギやコナラがあったのでいかなものか。

委員長

確かに、もう少し幅を持たした方が良い。15メートルから25メートルでどうだろうか。

委員

ヤマザクラも15メートル前後とあるが、同じように変更した方が良い。

事務局

エゴノキの実には毒素があると聞いているが、積極的に、石けんの代用となると表現して良いか。

委員

それは、エゴサポニンという物質のこと。魚が一時的に麻痺して浮いてしまったりするが、人間にはほぼ影響ない。

委員長

「泡立てると石けんの代用になる。」とまで表現しなくても、「物資が欠しい時代には石けん代わりに利用されることもあった。」といった表現が妥当か。

委員

ヤマザクラの赤い若葉とあるが、個体差で緑の若葉もあるので、赤いという表現を削除し「白い花と若葉が同時に出ます。」が良い。

委員

全体が明朝体の文字で記載されているのに、31から32ページの字体がゴシックになっているがいかがか。

事務局

思い出を語ってくれた清水さんの口語体の箇所はゴシック系の文字にして、31から32ページのその他の箇所は、他と合わせて明朝体の文字にする。

委員

50ページ以降に、このガイドブックに興味をもたれた方のために、市のホームページのアドレスを掲載したり、調査で活用した図鑑や、小平町誌などを紹介する必要があるか。

事務局

確かに必要であるので対応したい。

委員長

次に、資料2の、その2、「市民による森のカルテ(記載例)」についてどうか。

雑木林調査隊

このページについては、古地図の作成年月日が掲載されているので、その比較ができるように、写真の撮影日を入れるべきではないか。

委員長

確かにこのページは具体的な撮影日を表示した方が良い。他の箇所は、記載例として〇〇年〇月〇日と書いてあるのは、それで良いと思う。また、3ページなどの調査履2などは同じ日付でないことを明示するために△△年△月△日といったように変化を持たした方が良いのではないか。

雑木林調査隊

2ページの和暦と西暦が合っていないが、どちらが正しいのか。

事務局

和暦の昭和30年が正しいので、1960年でなく1955年が正しい。このガイドブック全体について、日付の扱いとして、期間が分かりやすいように和暦と西暦を併記しているが、全てについて整合性を確認する。

雑木林調査隊

2ページの地図に、記載例の調査箇所を赤丸表示して比較できるようにした方が良い。

委員長

確かにそうだ。さらに、青梅橋や小川橋など地名も表記したらどうか。

委員

7ページのエノキダケはナラタケの誤りである。

事務局

地図上と表上の2カ所についてナラタケに訂正する。

委員長

その他ご意見は。

委員

一部修正のうえ、原案で了承。

## 2 市民による森のカルテ(案)について

委員長

事務局から説明があり、記載例と比較すると、この様式編については、4・5・11・12ページが新たに追加されている様式であるがどうか。

委員

この様式編は、ガイドブックに掲載するのか。また、ホームページに掲載するのか。

事務局

全編を乗せるかどうかは、印刷予算の関係で保留とさせてもらいたい。ホームページには掲載してダウンロードできるようにする。

委員

PDFファイルではなく、ワードやエクセルなどでダウンロードできるようにした方が、利用価値が高いがどうか。

事務局

エクセルファイルで掲載する予定である。

委員長

その他様式についてはいかがか。

委員

原案のまま了承。

### 3 今後のスケジュール

委員長

事務局より、平成24年度活動結果と今後のスケジュールについて説明があったがどうか。

委員

了承。

### 4 その他

事務局

本日が最終の委員会となるので、市民による森のカルテづくりガイドブック(案)及び森のカルテ記載例の校正、並びに今回の委員会要録の確認について調整願いたい。

それぞれの校正及び確認終了までの手続きについて、各委員に本日の協議結果が反映した内容でご確認いただき、2回目以降は委員長の責了にて確認終了としたいがいかか。

委員

了承。

委員長

各委員におかれては、平成22年度から3年間お疲れ様でした。また、雑木林調査隊の方々も2年間ありがとうございました。今後の更なるご活躍を期待します。では、これで委員会を終了する。

以上